

造影剤副作用歴のある患者さんの造影 CT 検査・造影 MRI 検査について

「過去に造影剤での副作用歴のある患者」は、ヨード造影剤およびガドリニウム造影剤の副作用が発生するリスクが高いため、添付文書にも禁忌と記載されています。上記の患者さんへの造影剤の使用は原則的には不可とします。単純 CT・MRI に変更するかエコー検査など他の画像検査に変更をお願いします。

また、当日の問診等で造影剤使用のリスクが高いと検査室で判断した場合には、単純 CT・MRI へ変更することもありますのでご了承ください。

喘息治療中の患者さんに対する造影 CT 検査・造影 MRI 検査について

「気管支喘息の患者」は、ヨード造影剤およびガドリニウム造影剤の副作用が発生するリスクが高いため、添付文書にも原則禁忌と記載されています。上記の患者さんへの造影剤の使用は原則的には不可とします。単純 CT・MRI に変更するかエコー検査など他の画像検査に変更をお願いします。

なお、「気管支喘息の患者」とは、欧米の関連学会の基準を採用し「5年以内に気管支喘息での治療歴のある患者」とします。

また、上記以外でも造影剤使用のリスクが高いと検査室で判断した場合※には、単純 CT・MRI へ変更することもありますのでご了承ください。

※季節性あるいは感冒後の一時的な咳喘息の様な病態でも、治療中であれば、アレルギー体質として、リスクが高いと判断させていただきます。